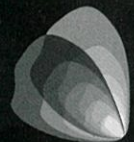


# 第6回国際平和博物館会議

京都造形芸術大学プログラム「平和を創造する芸術」

# ART FOR CREATING PEACE

Programs at Kyoto University of Art and Design  
6th International Conference of Museums for Peace



## 第6回国際平和博物館会議

6th International Conference of Museums for Peace

平和創造の空間としての平和博物館

地球的問題解決のためのピース・リタラシーの構築を目指して

国際平和博物館会議は、世界の約110館の平和博物館の関係者や研究者が集まり、国際紛争や環境問題など、人類の死活に関わる重要な問題解決に、平和博物館がどう貢献できるかについて議論する国際会議で、1992年に第1回が英国ブラッドフォードで行われて以来、オーストリア、日本、ベルギー、スペインでほぼ3年おきに開催されてきました。第6回にあたる今回は、世界平和を考えるにふさわしい京都と広島市の2都市で、約40カ国からの参加者を迎え、実施されます。会議の本体は平和博物館関係者を主たる対象にしていますが、それぞれの会場で、記念講演、分科会、講演会などが実施され、プログラムの一部は一般にも無料で公開されます。詳しくは公式サイトをご覧ください。

日程：2008 10 | 06 MON 08 WED 立命館大学  
2008 10 | 09 THU 京都造形芸術大学  
2008 10 | 10 FRI 広島平和記念資料館

主催：第6回国際平和博物館会議組織委員会

共催：立命館大学・国際平和ミュージアム、京都造形芸術大学

広島平和記念資料館、東北芸術工科大学、立命館アジア太平洋大学

助成：独立行政法人日本万国博覧会記念機構

第6回国際平和博物館会議についてのお問い合わせ：

Inquiries about 6th ICMP

立命館・国際平和ミュージアム 国際会議担当 telephone 075 465 8354

[公式サイト]

<http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/er/wp-museum/conference/index.html>

お問合せ  
INQUIRIES

Kyoto University of Art and Design

京都造形芸術大学

法人企画部 担当：杉浦

Ms. Sugiura, Strategy Development Division,

Kyoto University of Art and Design

telephone 075 791 9192 [平日9:00-17:00]

facsimile 075 791 8246

e-mail houjin@office.kyoto-art.ac.jp

アクセス  
ACCESS

■JR「京都」駅・阪急「河原町」駅・京阪「三条」駅から

→京都市バス5系統「岩倉」行きに乗り、「上終町・京都造形芸大前」下車

[京都駅から約50分、河原町駅から約30分、三条駅から約20分]

■京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」「北大路」駅から

→京都市バス204系統(循環)に乗り、「上終町・京都造形芸大前」下車[約15分]

■京阪「出町柳」駅から

→叡山電車に乗り換え「茶山」駅下車、徒歩10分、タクシー約10分

なお、駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮下さい。



## 2008 10 | 09 THU

09:30-12:00

基調講演 + 対談  
「平和を創造する芸術」

イ・チャンドン  
LEE Chang-Dong  
千住博  
SENJU Hiroshi  
奥本京子 [対談モデレーター]  
OKUMOTO Kyoko

13:30-14:30

狂言「棒縛」+ 和太鼓演奏

茂山千五郎  
SHIGEYAMA Sengoro  
茂山正邦  
SHIGEYAMA Masakuni  
茂山茂  
SHIGEYAMA Shigeru  
和太鼓 恵炎・恵  
SHIEN・SHIN

15:00-16:30

パネルディスカッション I  
「平和博物館は可能か？」

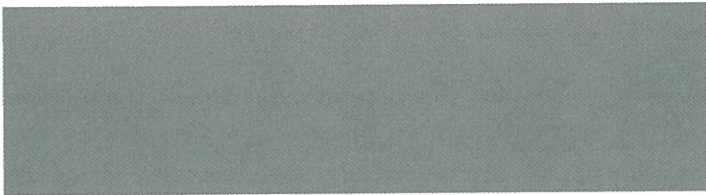
五十嵐太郎  
IGARASHI Taro  
椿昇  
TSUBAKI Noboru  
渋谷城太郎  
SHIBUYA Jotaro

17:10-18:40

パネルディスカッション II  
「芸術と平和  
—〈ローカルな知〉からの問いかけ—

赤坂憲雄  
AKASAKA Norio  
浅田彰  
ASADA Akira





## 第6回国際平和博物館会議 京都造形芸術大学プログラム 「平和を創造する芸術」

“Art for Creating Peace”  
Programs at Kyoto University of Art and Design  
6th International Conference of Museums for Peace

2008年10月6日から10日にかけて、京都と広島で、第6回国際平和博物館会議が行なわれます。開学以来「芸術による平和創造」を理念に掲げてきた京都造形芸術大学は、この会議を共催すると共に、姉妹校である東北芸術工科大学と連携し、「平和を創造する芸術」をテーマに、さまざまな芸術分野で活躍する多彩なゲストを迎え、芸術が平和創造にどのように寄与することができるかを、皆さんと共に考える一日を提案します。科学、経済、政治といった分野とはまた異なる視点から、未来の平和を実現する提案を行ないます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



|                    |                |  |
|--------------------|----------------|--|
| 開催日<br>THE DATE    | 2008 10 09 THU |  |
| スケジュール<br>SCHEDULE | 09:30 ▶ 12:00  | <b>基調講演 + 対談</b><br>受付開始 09:00 <b>「平和を創造する芸術」</b><br>イ・チャンドン / 千住博<br>奥本京子(対談モデレーター)<br>京都造形芸術大学 人間館1F 京都芸術劇場「春秋座」     |
|                    | 13:30 ▶ 14:30  | <b>狂言「棒縛」+ 和太鼓演奏</b><br>受付開始 13:00 茂山千五郎 / 茂山正邦 / 茂山茂 ほか<br>茂山千五郎氏へのミニインタビュー<br>和太鼓 恵炎・恵<br>京都造形芸術大学 人間館1F 京都芸術劇場「春秋座」 |
|                    | 15:00 ▶ 16:30  | <b>パネルディスカッション I</b><br>受付開始 14:30 <b>「平和博物館は可能か？」</b><br>五十嵐太郎 / 椿昇 / 渋谷城太郎<br>京都造形芸術大学 人間館1F NA102                   |
|                    | 17:10 ▶ 18:40  | <b>パネルディスカッション II</b><br>受付開始 16:40 <b>「芸術と平和-(ローカルな知)からの問いかけ」</b><br>赤坂憲雄 / 浅田彰<br>京都造形芸術大学 人間館1F NA102               |

入場料  
ADMISSION 無料 Free  
参加方法: 事前申込不要(定員に達し次第締切)

お問合せ  
INQUIRIES 京都造形芸術大学 法人企画部 担当: 杉浦  
Ms. Sugiura, Strategy Development Division, Kyoto University of Art and Design  
telephone 075 791 9192 [平日9:00-17:00]  
facsimile 075 791 8246  
e-mail houjin@office.kyoto-art.ac.jp



## 展覧会「平和博物館は可能か？」

“New Definition of Museums for Peace”  
Exhibition at Kyoto University of Art and Design

アート、デザイン、建築といったさまざまな表現分野で学ぶ約160名の大学生、高校生が「平和を創造する博物館」をテーマに制作したアート作品、建築、ランドスケープ、展示空間模型を展示、展示計画、広報活動も学生がプロデュースします。彼ら若い世代が、アートやデザインを通して世界に提案する、新たな「平和博物館」をご覧ください。

参加校: 京都造形芸術大学(情報デザイン学科、空間演出デザイン学科、環境デザイン学科)、東北芸術工科大学(建築・環境デザイン学科)、東北大学(工学部都市・建築学専攻)、神戸市立科学技術高等学校(都市工学科)、兵庫県立神戸工業高等学校(建築科)、兵庫県立兵庫工業高等学校(建築科)



## 開催日 THE DATE 2008 10|03 FRI ▶▶▶ 19 SUN

|                  |  |
|------------------|--|
| 時間<br>TIME       | 10:30 ▶ 18:30  |
|                  | 日曜・祝日開廊 Open Everyday  |
| 入場料<br>ADMISSION | 無料 Free  |
| 会場<br>PLACE      | 京都造形芸術大学 人間館1F Galerie Aube ギャラリー・オーブ<br>京都造形芸術大学 望天館 ANNEX 3F gallery B37 |


関連プログラム  
RELATED PROGRAM 2008 10|03 FRI 18:00 ▶ 19:30  
**オープニングレセプション**  
京都造形芸術大学 人間館1F Galerie Aube ギャラリー・オーブ

2008 10|08 WED 18:00 ▶  
**スペシャル合評**  
五十嵐太郎 / 椿昇 / 渋谷城太郎 / ヤノベケンジ / 横内敏人ほか  
京都造形芸術大学 人間館4F NA401

出演者【プログラム順】

|   |                               |
|---|-------------------------------|
|   | <b>イ・チャンドン</b> LEE Chang-Dong |
| 映画監督<br>韓国芸術総合学校教授 京都造形芸術大学教授<br>1954年韓国生まれ。慶北大学師範学部国語教育学科卒業。<br>1983年小説『戦利』、1997年映画『グリーンフィッシュ』を発表。<br>2002年ヴェネチア国際映画祭特別監督賞受賞。2002-2004年文化観光部長官。代表作『ペパーミント・キャンディー』(1999年)、<br>『オアシス』(2002年)、『シークレット・サンシャイン』(2007年)。 |                               |

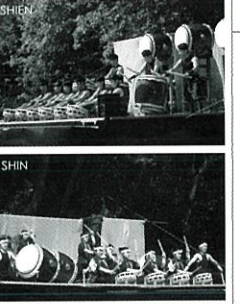
|  |                          |
|--|--------------------------|
|   | <b>千住博</b> SENJU Hiroshi |
| 日本画家<br>京都造形芸術大学学長<br>1958年東京生まれ。東京藝術大学美術学部日本画科卒。同大学大学院博士課程修了。1995年ヴェネチア・ビエンナーレ絵画部門優秀賞受賞。1998-2003年京都大徳寺聚光院別院模絵制作。2004年羽田空港第2旅客ターミナルアートワーク担当。<br>2007年フィラデルフィア「松風荘」模絵制作。代表作「フラット・ウォーター」、「ウォーター・フォール」シリーズ。著書『絵を描く悦び』(光文社)他。 |                          |


|   |                           |
|---|---------------------------|
|   | <b>奥本京子</b> OKUMOTO Kyoko |
| 大阪女学院大学国際・英語学部准教授<br>「トランセンド研究会」「非暴力平和隊・日本」理事<br>想像力・創造力が紛争転換などの平和創造に不可欠と考え、平和学と芸術の関係を模索し、平和的手段による紛争転換や非暴力的手段による直接介入などを研究・実践。共著『ガルトゥング平和学入門』『平和を拓く—安齋育郎教授退職記念論集—』『平和の探求: 暴力のない世界をめざして』など。紛争転換・平和創造ワークショップ・ファシリテーター用教材『人権学習シリーズVol.5 ぶつかる力 ひきあう力: 対立と解決』作成にも関わる。 |                           |


|   |                                |
|---|--------------------------------|
|    | <b>茂山千五郎</b> SHIGEYAMA Sengoro |
| 能楽師<br>1945年生まれ。1949年初舞台。1976年花形狂言会発足。1986年「昭和60年度京都市芸術新人賞」受賞。日本能楽会入会。1990年国際交流基金より東南アジア公演に茂山狂言団副団長として派遣。1994年十三世茂山千五郎襲名。1995年国立歌舞伎養成部講師就任。2001年『お米とお豆腐』発足。2004年「平成15年度京都府文化賞功労賞」受賞。海外公演多数参加。 |                                |


|  |                                |
|--|--------------------------------|
|   | <b>茂山正邦</b> SHIGEYAMA Masakuni |
| 能楽師<br>1972年生まれ。1976年初舞台。1986年日本能楽養成会入会。1993年花形狂言会入会。アメリカ・アビニオン演劇祭参加。1995年「狂言小劇場」第1回公演。若手能楽師グループ『心味の会』結成。1998年「平成10年度大阪市咲くよこの花賞」受賞。2005年「平成17年度文化庁芸術祭新人賞」受賞。 |                                |

|   |                              |
|---|------------------------------|
|    | <b>茂山茂</b> SHIGEYAMA Shigeru |
| 能楽師<br>1975年生まれ。1979年初舞台。1980年映画「白地三太夫」出演。1989年京都能楽養成会に入会。1994年「花形狂言少年隊」(茂山宗彦、逸平と)。1995年「狂言小劇場」第1回公演。1996年東ヨーロッパ公演参加。2000-2005年「心・技・体・教育的古典狂言推進準備研修練磨の会」主催(茂山千三郎、正邦、宗彦、逸平、童司と)。 |                              |


|  |                          |
|--|--------------------------|
|    | <b>恵炎・恵</b> SHIEN / SHIN |
| 『恵炎』は京都造形芸術大学を拠点に和太鼓の指導に携わるメンバーによって2000年に結成。高木克美(京都造形芸術大学芸術学部教授)を代表に年間数々のイベントに出演。幼児から社会人、また自閉症者・ダウン症者等多くの方々を対象に「心・技・体」をテーマとして和太鼓の指導を実施。<br>『恵』は京都造形芸術大学・京都芸術デザイン専門学校・京都文化日本語学校の学生、約40名で構成されており、テーマに基づき日々練習に励む。 |                          |

|   |                            |
|---|----------------------------|
|    | <b>五十嵐太郎</b> IGARASHI Taro |
| 建築史・建築批評<br>東北大学大学院工学研究科・工学部准教授<br>1967年フランス生まれ。1992年東京大学工学系大学院建築学専攻修士課程修了。著書『終わりの建築 / 始まりの建築—ポスト・ラディカリズムの建築と言説』(INAX出版)、『新宗教と巨大建築』(講談社現代新書)、『戦争と建築』(晶文社)、『過防備都市』(中公新書ラクレ)、『美しい都市・醜い都市』(同)など。 |                            |

|  |                          |
|--|--------------------------|
|    | <b>椿昇</b> TSUBAKI Noboru |
| 現代美術家<br>京都造形芸術大学空間演出デザイン学科教授・学科長<br>1953年京都生まれ。京都市立芸術大学美術専攻科修了。1993年ヴェネチア・ビエンナーレアベルト出品。2001年「横浜トリエンナーレ2001」で巨大なバットのバルーン「インセクトワールド」を室井尚と発表。2003年「国連少年展」(水戸芸術館)。2004年「占領下の物語II」(ハルステナ・アルカサバシアター)など。 |                          |

|  |                             |
|--|-----------------------------|
|   | <b>渋谷城太郎</b> SHIBUYA Jotaro |
| ミュージアムデザイナー<br>京都造形芸術大学空間演出デザイン学科教授<br>東京造形大学卒業。株式会社乃村工藝社を経て、情報環境と施設空間の融合をテーマとしたクリエイティブ・ディレクション・ファーム〜株式会社ミュゼグラム設立。都市開発から商品開発まで戦略的なプロジェクトデザイナーが専門。主な実績「EXPO2005 大地の塔(名古屋市館)」等。主な論文「オープンソースによる自律的な地域博物館の創出プロセスの提案/日本計画行政学会」。日本観光研究会会員。 |                             |

|   |                           |
|---|---------------------------|
|    | <b>赤坂憲雄</b> AKASAKA Norio |
| 民俗学者 東北芸術工科大学大学院長<br>1953年東京都生まれ。1978年東京大学文学部卒業。東北文化研究センター設立後、1999年-第1期『東北学』(作品社)、第2期『季刊東北学』(柏書房)を刊行、東北から日本を開く知の運動「東北学」を展開。主な著書『異人論序説』『排除の現象学』(ちくま学芸文庫)『境界の発生』『子守唄の誕生』(講談社学術文庫)『東北学へ』三部作(作品社)『柳田国男の発生』三部作(小学館)『東西 / 南北考』(岩波新書)。2007年『岡本太郎の見た日本』(岩波書店)がドゥマゴ文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。 |                           |

|  |                        |
|--|------------------------|
|   | <b>浅田彰</b> ASADA Akira |
| 京都造形芸術大学大学院長<br>1957年兵庫県生まれ。1979年京都大学経済学部卒業。1989年より京都大学経済研究所(准)教授。政治、経済、社会のみならず、文学、映画、演劇、舞踊、音楽、美術、建築など芸術諸分野においても多角的・多面的な批評活動を展開。著書『構造と力』(勁草書房)、『逃走論』、『ヘルメスの音楽』(筑摩書房)、『映画の世紀末』(新潮社)。対談集『世界の終わりを超えて』(中公文庫)、『20世紀文化の臨界』(青土社)など。 |                        |